

第4章 リーディングプロジェクト

1. リーディングプロジェクトとは

まちの将来像の実現に向け、計画期間において特に重点的かつ先駆的に取り組む施策として位置付けるもので、それぞれの施策を横断的に関連付け、総合的な推進によって相乗効果を高めていくことを目的にしています。

2. リーディングプロジェクトの概要

リーディングプロジェクト

次代を担う「子ども・若者」の 成長・交流・つながりの場づくり

本市においては、年少人口と生産年齢人口の減少により、労働力不足や消費の後退による経済規模の縮小、コミュニティの担い手不足等が懸念されており、市内経済や地域社会の持続的な発展を図るため、地域の未来を支える重要な担い手である「子ども・若者」に対する施策を重点的に展開する必要があります。

また、子ども・若者が、心身の状況や置かれている環境等に関わらず、将来にわたって幸せな生活が送れるように、それぞれの状況に応じて必要な支援を社会全体で切れ目なく実施していくことが重要となっています。

そこで本市では、子ども・若者の声を聴きながら、様々な学びや体験活動等を通じ、豊かな人間関係の中で健やかに成長できる環境づくりを進めるとともに、多世代との交流を通じ、つながりを深められるように、地域全体で「成長・交流・つながりの場づくり」に取り組み、子ども・若者の地域への安心感や信頼感、愛着を育んでいきます。

また、市内外の多様な人との出会いにより、子ども・若者が、地元ならではの魅力を実感できる場づくりを進め、まちの未来に想いを巡らせ、まちづくりに参画しながら、地域課題の解決や新たな価値の創造に挑戦する人材育成に取り組んでいきます。

3. 子ども・若者の範囲

本計画においては、0歳から中学生年代を「子ども」とし、高校生年代から概ね30歳代前半までを「若者」としています。

4. 成長・交流・つながりの場の範囲

子ども・若者が過ごす場所・時間・人との関係性の全てが、成長や交流、つながりの場になり得るものであり、本計画においては、公共施設や屋外の遊び場などの物理的な場のほかに、多様な体験活動や地域づくり活動、インターネット上のオンライン空間等も対象としています。

5. 基本的な視点

子ども・若者の成長・交流・つながりの場づくりにあたっては、次の4つの視点を重視して取り組みます。

基本的な視点

- 子ども・若者の好奇心と自由な発想を大切にする。
- 子ども・若者を地域全体で見守り、育てていく。
- 多世代がつながり、絆を育み、地域文化を継承する。
- 多様な関係性を築き、新たな価値の創造に挑戦する。

●子ども・若者の好奇心と自由な発想を大切にする。

成長・交流・つながりの場に行きたいと感じるかどうかは、子ども・若者本人が決めるものであり、主体性を大切にした環境づくりが重要となります。子ども・若者が自由に考え、表現し、創造する機会を充実するとともに、多様な個性を尊重しながら、子ども・若者と共に考え、共に場づくりを進めます。

●子ども・若者を地域全体で見守り、育てていく。

子ども・若者は、地域の未来を担い、持続可能な社会を築いていく大切な存在です。子ども・若者を保護者だけではなく、地域全体で見守り、育てていくことで、地域への安心感を育み、安らぎと信頼、愛着を感じられる場づくりを進めます。

●多世代がつながり、絆を育み、地域文化を継承する。

成長・交流・つながりの場は、子ども・若者のためだけではなく、そこに関わる全ての人にとっても大切な場となります。子どもと保護者、若者や大人、高齢者などが気軽に集い、世代や立場を超えてつながり、地域文化を受け継ぎながら、誰もが活躍できる場づくりを進めます。

●多様な関係性を築き、新たな価値の創造に挑戦する。

生産年齢人口の減少により、地域の労働力や担い手の不足が懸念されています。未来を担う人材の育成・確保を進め、持続的な発展を図るため、子ども・若者が、市内外の多様な人材とつながり、様々な主体との連携・協働により、地域の課題解決や地域資源を活かした新たな価値の創造に挑戦できる場づくりを進めます。

6. 成長段階に応じた成長・交流・つながりの場づくり

コミュニティや NPO 法人、民間企業や行政等が関わってきた様々な場の継続や充実を図るとともに、新たな担い手の発掘や育成、関係者のネットワークづくりを進めながら、子ども・若者の成長段階に応じて、多様な人材との連携・協働による場づくりに取り組みます。

それぞれの場の対象年齢は、概ね未就学児、小学生・中学生、高校生、高校卒業後～30 歳代前半とし、それらの年代を中心としつつも、前後のつながりを大切にした場づくりを進めます。

未就学児

◆のびのびと過ごせる場づくり

●親子のふれあい・子ども同士の遊び場の充実

季節や天候に関わらず、屋内で小さな子どもでも安全に過ごせる遊び場を充実し、親子でのふれあいや同年代の子ども同士、親同士の交流が自然に進み、心地よく過ごせる場づくりを行います。

◆わくわくとひらめきの場づくり

●自由に遊べる野外の遊び場の充実

ブランコやシーソー等の遊具だけでなく、自然の地形や樹木などを利用し、子どもたちの自由な発想や遊び心を大切にしながら、創意工夫で楽しく遊べる場づくりを進めます。

◆子どもと保護者を見守る場づくり

●家庭に寄り添うきめ細かな子育て支援

全ての妊産婦や子育て世帯、子どもへの一体的な相談支援等を行うとともに、安全で快適な保育環境で、子ども一人ひとりの状態に合わせた柔軟な育児支援を行い、子どもと保護者に寄り添いながら、温かく見守る場づくりを進めます。

小学生・中学生

◆仲間と夢中になれる場づくり

●自由なスタイルのスポーツ・文化の普及促進

音楽やファッション、アートなどの要素も加わった新しいスポーツ分野である「アーバンスポーツ」等を自らが楽しみ、仲間や見る人たちとも一緒になって楽しめる場づくりを進めます。

◆夢と可能性を広げる教育の場づくり

●生きる力を育む教育環境の充実

小学生・中学生一人ひとりの学習状況に合わせた個別最適な学びや、学年を超えた協働的な学びの深化を図るとともに、日常生活や地域での様々な体験活動等を通じ、生きる力を育む環境づくりを進めます。

◆時代の先を見据えた教育の場づくり

●予測困難な社会を生き抜く力の育成

自ら課題を見つけ、多様な人材と協力しながら、主体的に解決策を探求する機会を充実し、発想力や創造性、コミュニケーション能力等を高めつつ、将来の予測が困難で、変化の激しい時代を生き抜く力を育む環境づくりを進めます。

高校生

◆まちの未来を考える場づくり

●協働による課題解決の推進

地元の高校生が、地域住民や首都圏の大学生、専門人材等とまちの未来を思い描き、地域課題について語り合い、つながりを深めながら、協働で解決策を形にしていく場づくりを進めます。

◆関係性を深めるつながりの場づくり

●若者同士の対面・ネット上の交流促進

市内外の同世代や、多様な知識や経験を持つ専門人材等と、いつでも気軽に出会い、交流し、関係性を深められるように、若者が自由に集まれる場所のほか、インターネット上のオンライン空間での場づくりを進めます。

◆自分らしく自由に過ごせる場づくり

●居心地のいい ゆるやかな空間の創出

放課後や休日などに気軽に集まり、過ごし、自由に活動することができる場づくりを進め、多様な人や世界と出会い、自分がやりたいことに、自分らしいやり方で挑戦できる環境づくりを進めます。

高校卒業後～30 歳代前半

◆新たな価値を創り出す挑戦の場づくり

●地域資源を活かした事業化支援

地域課題の解決に必要な知識の習得や、専門的な知見や経験を有する人材とのつながりを深める機会を充実し、多様な主体との協働により、地域の特色を活かした事業や新たな価値の創造に挑戦しやすい場づくりを進めます。

◆出会い・結婚・子育て支援の場づくり

●ライフスタイルに応じた切れ目のない支援

イベント等を通じた出会いの機会のほか、結婚や出産、子育てに係る負担の軽減や支援サービスの充実に加え、子育てしながら安心して働くことができる環境づくりを進めます。

7. 成長・交流・つながりの場の情報発信

子ども・若者が、市内で展開される成長・交流・つながりの場を簡単に見つけ、選ぶことができるように、主な対象年齢や開設時間、場所、行き方等の基本的な情報のほか、それぞれの場の特徴や活動内容、最新のイベント情報や参加者の声など、子ども・若者が「行ってみたい」「やってみたい」と思えるような情報を継続的に発信します。